

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成27年度)

2016年 4月 22日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 101-0041  
所在地 東京都千代田区神田須田町1-9  
相鉄神田須田町ビル203

評価機関名 株式会社 福祉規格総合研究所

認証評価機関番号 機構 03 - 109  
電話番号 03-3258-0348  
代表者氏名 代表取締役 林 俊 哉 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H1201002
	②		福祉	H0702029
	③		福祉	H0901016
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	わかたけ第二保育園			
事業所連絡先	〒	175-0081		
	所在地	東京都板橋区新河岸1-3-5		
	Tel	03-3935-1354		
事業所代表者氏名	園長 堀江 正江			
契約日	2015年 10月 29日			
利用者調査票配付日(実施日)	2015年 11月 24日			
利用者調査結果報告日	2016年 2月 10日			
自己評価の調査票配付日	2015年 11月 14日			
自己評価結果報告日	2016年 2月 10日			
訪問調査日	2016年 2月 17日			
評価合議日	2016年 3月 1日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	当園は、平成24年度に続いての第三者評価への取り組みである。当社は初めて担当させていただいた。訪問調査は、保育士、社会福祉士、社会保険労務士の資格を持つ評価者で実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2016年 3月 31日

事業者代表者氏名 園長 堀江 正江 印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述                  （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 児童福祉施設、認可保育所として公的な役割を自覚し、「公共の利益に」貢献する。                  2) 保育所の専門性を確立し、組織として保育のプロフェッショナルを目指す。                  3) 一方的でない応答的な情報交換により、利用者との意思疎通を図る。                  4) 先の見通しを持ちながら「地域性」「歴史」「職員の資質」を活かした施設運営を行う。                  5) 児童が「協調性と社会性」「自然との調和」「日本文化」の体験を通じて獲得できる環境を整える。</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>事業所の掲げる理念を具象化すること。                  子どもの発達を理解し、保育に意欲的に取り組むことができる。                  積極的に意見を出し合い、互いに確かめ合う姿勢がある。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>保育事業(保育園として社会への役割)など使命感を理解し、それぞれの専門性を高める。                  保育に対する自分の考えを持ち、探求心をもって取り組む姿勢。                  職員同士のコミュニケーションがとれ信頼関係が築ける。                  状況に応じて、落ち着いて判断し行動できる。</p>

調査対象

調査日時点の利用者の全世帯を対象とした。子どもの総数は91名、世帯数は72世帯である。

調査方法

調査票と返信用封筒の配布を事業所に依頼した。回答後、評価機関宛てに直接郵送をしていただいた。

利用者総数

72

共通評価項目による調査対象者数

72

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者総数に対する回答者割合(%)

73.6

## 利用者調査全体のコメント

回答をいただいたのは53名であり、回答者割合は7割強であった。総合的な園の感想として、「大変満足」が23名、「満足」が27名と、合わせて9割強の方が満足されている結果となっている。

自由意見欄では、「先生方には本当によくしていただいている。子どもとの関わり方、しつけ方など参考になり助かっている。行事は園での過ごし方がよくわかりとてもいい」、「自然の中でダイナミックに体を動かすわかたけらしさが好き」、「年齢に合った体づくりはよく考えられていると思う」、「のびのびとたくましく育てて下さる点、家ではできない様々な体験を提供して下さる点に非常に感謝している」、「子どもが楽しめる催し物が多い」、「男性の職員が多めでいい」などのコメントがあった。

意見・要望として、「職員により対応が異なることがある。情報は共有していると言うが、しっかりとしたものにしてほしい」、「蚊に刺される事が多いのもう少し対策をしてほしい」、「子どもと同じ給食を一緒に食べてほしい。先生の食べる姿、味・食感を子どもと一緒に感じて食べてほしい」などが出されていた。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	3	1	0
9割強の方が「はい」とされている。「子どもが楽しみにしている」、「おやつはいつも手作りで素晴らしい」、「ひな祭りのときなどでもかわいらしく作ってくれて嬉しく思う」、「家では食べられなかった食材も食べられるようになり感謝している」などのコメントがあった。意見・要望として、「0歳児のメニューが毎週同じようなものになっている」、「ゆで野菜が硬く、噛めない時期の子どもが口から出してしまう事があった」などが出されていた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	50	2	0	1
9割強の方が「はい」とされている。「毎日ドロンコになって遊んでいる姿を見て先生に感謝している」などのコメントがあった。意見・要望として、「外で遊ばせ過ぎ。毎日服を汚すので負担を考えてほしい」などが出されていた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	2	1	6
8割強の方が「はい」とされている。「助かっている」、「急な残業がしばしばあるが、そういうことをしっかりと理解してもらっている」、「電話をすると『気をつけて来て下さいね』と言われ安心する」などのコメントがあった。意見・要望として、「まだ子どもが小さいため『延長はできない』とのことで、子ども同伴で会議に出席した」などが出されていた。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	35	15	2	1
7割弱の方が「はい」とされている。「最近シャワーをボードのようなもので隠しているので安心」などのコメントがあった。意見・要望として、「園舎が古く、耐震性・耐火性に不安がある」、「防犯対策として監視カメラを設置するだけでも抑止力になると思う」、「園の責任ではないが、階段上の戸や門を開けっ放しの保護者が多い」などが出されていた。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	39	12	2	0
7割強の方が「はい」とされている。「随分前から告知して下さるので嬉しい。日曜開催だと家族も参加できていい」、「運動会などが日曜日で助かる」などのコメントがあった。意見・要望として、「運動会が毎年日曜のため仕事の人は参加(参観)することができない」、「各クラスのボードのほか掲示板にも貼り出してほしい。いつ交換したのかわからず見落とす場合が多い」などが出されていた。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	4	0	0
9割強の方が「はい」とされている。「子どもへの対応など助言をもらい助けられている」などのコメントがあった。意見・要望として、「今の担任は信頼できるが先生によると思う」などが出されていた。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	48	5	0	0
9割強の方が「はい」とされている。「子どもへの対応がとても適切で、私の考えもしっかりと聞き入れてくれる」などのコメントがあった。「忙しそうで声をかけづらい」、「こちらも時間がなくゆっくりお話できないこともある」などが出されていた。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	42	10	1	0
8割弱の方が「はい」とされている。「泥遊びで全身汚れた子をシャワーで洗い園のタオルで拭いてあげていた。とてもいいと思う」などのコメントがあった。意見・要望として、「清潔にしているとは思いますが、建物が古い事もあり、きれいな園(見た目など)とは言い難い」、「週末にシーツを交換して帰るが、交換済みの布団とまだ交換していない布団を分けて置いてほしい」などが出されていた。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	48	3	1	1
9割強の方が「はい」とされている。意見・要望として、「人による」、「爪が長く派手なマニキュアなどをしている人がいる」などが出されていた。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	44	6	2	1
8割強の方が「はい」とされている。意見・要望として、「少しでも体調に何かあるとすぐ電話をしてくるので仕事ができない」、「けがをすることは仕方ないと思うが、状況説明をもう少ししっかり伝達してほしい。聞かないと教えてくれないときもあった」などが出されていた。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	11	0	2
8割弱の方が「はい」とされている。「信頼できる先生がとでもたくさんいる」などのコメントがあった。意見・要望として、「先生による。話してくれる先生もいれば、子どもに聞いてわかることもある。状況によって親へ報告する・しないなど具体的なことを親に周知してもいいのでは？」などが出されていた。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	50	3	0	0
9割強の方が「はい」とされている。「それぞれの家庭の状況を考えて対応していると思う」などのコメントがあった。意見・要望として、「極力、保育園では預からないとの考えが全てのような」などが出されていた。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	46	5	1	1
9割弱の方が「はい」とされている。「正は正、非は非を大事にしていると思う」、「誰もいない部屋で個別に子どもの話をしてくれた」などのコメントがあった。意見・要望として、「例年撮影禁止の行事で撮影している人がいて、カメラを持参しなかった事をすごく悔やんだ。その点について明確にしてほしい」などが出されていた。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	8	1	0
8割強の方が「はい」とされている。「運動会のお知らせ(卒園児)が郵送され、子どもが喜んでいて」などのコメントがあった。意見・要望として、「細かい事まで知るには見学などをしないとわからないと思う」、「連絡帳に『みんなで〇〇した』とあるが『みんなの中で我が子は〇〇していた』というようなクラスの中での子どもの様子を知りたい」などが出されていた。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	45	4	2	2
8割強の方が「はい」とされている。「いつも笑顔で対応していただけるのでありがたい」、「改めて電話をいただいたり説明してもらうことで納得することができた」などのコメントがあった。意見・要望として、「行事は多数派の意見が強いので、少数派は多数派に流れるしかない対応だった」などが出されていた。				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	34	13	4	2
6割強の方が「はい」とされている。「園長先生から年度初めに説明があったと思う」、「元々知っていた」などのコメントがあった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>9/9</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>

カテゴリー1の講評

**環境の和、自然との調和、文化の和、和やかな環境の4つの和を大切にしている**

環境の和、自然との調和、文化の和、和やかな環境の4つの和を大切にしている。基本理念や保育方針は、事業計画書に明示しているほか園内に掲示している。職員にはステートメントブックにまとめて配布している。園の保育目標や保育方針は、園のしおりや当園のホームページなどにも明示している。保護者に対しては、入園前の見学や合同説明会にて理念を説明している。また、保育内容については、保護者会で適宜説明している。第一希望でない家庭も入園されるため、この園に入園してよかったとっていただけるよう努めている。

**園長の下に2名の主任を配置し、園内外の調整や職員の育成を図っている**

経営層をはじめ全担当者の職務内容は、職務分担表などに明示している。新年度会議や毎月の職員会議で、園長としての考え方や方針を伝えている。昨年度より園長の下に2名の主任を配置し、園内外の調整や職員の育成を図っている。毎月第一土曜日に職員会議を行うほか、クラス会議、乳児・幼児部会、給食会議、離乳食会議、防災会議などを開催している。会議では職員が意見を言いやすいように配慮しているが、自分から発言する職員が限られていることを課題と考えている。

**園長・主任で話し合い、ある程度の形を作ってから職員にはかかっている**

重要な案件は、理事会や理事長に相談・確認している。園内の重要な案件は、園長・主任で話し合い、ある程度の形を作ってから職員にはかかっている。職員会議では、なぜその案件が発生したのか、園長・主任でどのような話し合いがあったのかなどを伝えている。早急な判断が必要な場合には、園長権限で判断した上で、日々の終礼にて職員に伝達している。保護者に対しては、園だよりやその都度のお知らせを配布して決定事項を周知している。

2			カテゴリー2	
2			経営における社会的責任	
			サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(2-2)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当	

## カテゴリー2の講評

### 就業規則や倫理綱領はステートメントブックに記載して職員に配布している

職員が守るべき規範や倫理は、就業規則にサービスの章を設けて明示している。同規則や倫理綱領はステートメントブックに記載している。入職時に職員に配布し説明をしている。第三者評価は、平成24年度に続いての取り組みである。毎年度行う利用者調査の結果と園からの回答、決算書、園のしおりなどは、園のホームページで開示している。そのほか、園の情報は区の冊子にも掲載している。園見学の際に育児相談などを随時受け付けている。また、空手道場に施設を貸し出したり、親睦会などで園の備品を貸出することもできる。

### 民俗芸能公演会を開催して地域の方を無料招待している

地域の子育て家庭に対しては、赤ちゃんの駅、親子給食体験を利用していただいている。また、民俗芸能公演会を開催して地域の方を無料招待している。中学生の体験学習、夏休み期間のボランティアを可能な限り受け入れている。今年度は多くの高校生を受け入れることができた。受け入れの担当者を決めており、事前にオリエンテーションを開催し、活動に際しての留意事項を伝えている。地域との交流はまだ少ないと感じており、今後どのように活動を広げていくか検討している。

### 近隣の公私立保育園5園で年長児の交流事業を行っている

地域の小学校の入学式、卒業式、運動会などに園長が出席し、来賓の方々と交流を図っている。町会の夏祭りには、職員は要員として参加している。また、近隣の公私立保育園5園で年長児の交流事業を行っている。区内の私立保育園園長会への参加や、こども家庭支援センターなど関連機関との連携を図っている。私立保育園園長会では、協働して新人職員の研修会が開催されるほか、区民祭りに参加して保育園をアピールしている。実習生は、要望があれば可能な限り受け入れる方針である。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<b>保護者から要望のあった延長保育を今年度から始めることとした</b> 苦情解決の仕組みを、園のしおりに掲載している。苦情解決のための第三者委員を2名委嘱し、氏名と電話番号を開示している。保護者からの要望が多様化するなか、職員会議などで話し合いを行い、可能な範囲で希望に添えるよう努めている。対応が難しいことは、園の考えを伝えて理解いただいている。これまで保護者から要望のあった延長保育を今年度から始めた。18時15分から19時15分まで、満1歳以上の子どもが、月極め・スポットの利用ができる。		
<b>利用者調査で寄せられた意見に対して、園からの回答を開示している</b> 毎年度、第三者評価または利用者調査に取り組み、結果を園のホームページで開示している。さらに寄せられた意見に対して、園からの回答も合わせて開示している。調査から得られた課題や問題は、職員間で共有し、可能な限り改善に取り組んでいる。作品展や運動会などの行事の後にもアンケートをとって感想や要望を把握し、次年度の企画に活かしている。		
<b>地域の子育てニーズは、区が毎月発行している情報で確認している</b> 地域の子育てニーズは、区が毎月発行している待機児童数で確認している。行政や業界の動向は、区内私立保育園園長会や社会福祉協議会などからのさまざまな情報誌、配信メール、説明会などを通じて積極的に収集に取り組んでいる。収集した情報のうち、必要なのは会議等で職員にも伝達している。地域の待機児童を解消するため、弾力運用により定員を上回る子どもを受け入れている。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

**園舎の建設費用に備えて準備を進めていく計画である**  
 当園は昭和53年に開園し、40年近くが経過した。2年後に現在の場所に園舎を建て替える計画が進んでいる。今年度は他園の園舎を見学に行ったり、職員内でアンケートを取って新園舎へのアイデアを出し合っている。仮園舎の建設場所も目途がついた。建設費用に備えて準備を進めていく計画である。毎年度、事業計画書、保育・食育・保健の年間計画を策定している。行事や係りの分担は年度始めに割り振り、どの職員もまんべんなく経験ができるよう配慮している。

**年3回「保育まとめ」を作成して振り返り、翌期の計画に反映している**  
 園行事は、職員会議で反省を行い、次年度の計画に活かしている。保育活動については、年3回「保育まとめ」を作成して振り返り、翌期の計画に反映している。計画の策定に当たっては、利用者調査の結果などを踏まえるほか、予算や職員の負担なども考慮して総合的に立案している。計画推進にあたっては、各行事のねらいや目標、準備のスケジュール、予算の執行状況などを確認しながら、必要に応じて修正を加えながら取り組んでいる。

**園内にAEDを設置し、職員は消防署より救命救急訓練を受けている**  
 防災組織編成表、避難訓練計画表を明示している。毎月実施している避難訓練では、地震・火災についてさまざまな想定を行い、重点目標を明確にして取り組んでいる。園内防災マップを作成して掲示している。4・5歳児は防災館で地震や煙の体験をしている。不審者対応の訓練や防犯カメラの設置もある。発生した事故は事故簿に記録し、職員会議などで話し合い再発防止や予防に努めている。園内にAEDを設置し、職員は消防署より救命救急訓練を受けている。毎年度、アレルギー対応のマニュアルの見直しを行っている。

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ5の講評

法人全体で人事評価を取り入れ、基本的な考え方を文書で明示している

保育課程に要求される職務や職責を明示している。法人全体で昨年度より人事評価を取り入れ、基本的な考え方を文書で明示している。職員の採用にあたっては、ハローワークなどを通じて公募し、園長による面接において価値観や保育観を聞き、各部署による実地試験や各担当者の評価も参考にして当園に合う人材を採用している。翌年度の職員配置は、職員の要望を踏まえて園長が原案を作成し、主任を交えて検討して決定する。いろいろな現状を見て必要であるならば基準より多くなっても人員を配置している。

園内研修として、それぞれ年3回程度、リズム・描画などをテーマに行っている

園長による個別面談や希望調査により、各職員の目標や希望を把握している。園内研修として、それぞれ年3回程度、リズム・描画などをテーマに行っている。平成28年度には、法人内各園との交換研修を行う予定である。外部研修に関しては、基本的には希望制としているが、職員個々の能力などを踏まえて園からの指示で参加させることもある。外部研修で学んだ成果は、研修報告書に記録するとともに、会議などで内容や感想について発言させ共有化している。新人職員は複数担任のクラスに配置してOJTにより基本を学ばせている。

必要があれば休暇取得を勧めるなどしており、休暇の取得率は高いと認識している

人事評価では、自己評価シート・自己目標シートの結果や、研修参加・書類提出の状況も加算される。その結果は期末勤勉手当に反映している。有給休暇は、法定の休暇に加え、10年目以降5年ごとに法人付与の5日が加えられる。休暇の取得状況を把握し、必要があれば休暇取得を勧めるなど改善に取り組み、休暇の取得率は高いと認識している。今年度、退職金制度の拡充を図った。職員の定着率は高いと認識している。職員の福利厚生として、区の福利厚生共済制度掛金の全額負担や、職員親睦会の補助などを行っている。



カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

他園の園舎を見学や、職員内でアンケートを取って新園舎へのアイデアを出し合う

昨年度より園長の下に2名の主任を配置し、園内外の調整や職員の育成を図っている。重要な案件は、園長・主任で話し合い、ある程度の形を作ってから職員にはかることとしている。  
 中学生の体験学習、夏休み期間のボランティアを可能な限り受け入れている。今年度は多くの高校生を受け入れることができた。  
 当園は昭和53年に開園し、40年近くが経過した。2年後に現在の場所に園舎を建て替える計画が進んでいる。今年度は他園の園舎を見学に行ったり、職員内でアンケートを取って新園舎へのアイデアを出し合っている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

法人全体で昨年度より人事評価を取り入れ、基本的な考え方を文書で明示している

保育課程に要求される職務や職責を明示している。法人全体で昨年度より人事評価を取り入れ、基本的な考え方を文書で明示している。人事評価では、自己評価シート・自己目標シートの結果や、研修参加・書類提出の状況も加算される。その結果は期末勤勉手当に反映している。休暇の取得状況を把握し、必要があれば休暇取得を勧めるなど改善に取り組み、休暇の取得率は高いと認識している。今年度、退職金制度の拡充を図った。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

延長保育を始め、月極め以外のスポットでの利用もできるようにしている

今年度より延長保育(定員20名)を始めた。月～金曜日の18時15分～19時15分までの1時間として実施し、月極め以外のスポットでの利用もできるようにしている。急な残業による保育時間の延長については、開所時間の範囲内で柔軟に対応している。  
 園行事は、夏祭り、運動会、作品展などを地域に開放しており、ポスターの掲示やチラシを配布するほか、園のホームページでもお知らせして広く参加を呼びかけている。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園舎の建て替えなどに備えて、準備を進めていく計画である  
 収入面では、弾力運用により定員を上回る子どもの利用があり安定している。  
 支出面では、節電や節水のほか、古紙は定期的に業者に回収をしてもらう。  
 将来の建て替えなどの支出に備えて、準備を進めていく計画である。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者アンケートでは、9割を超える方が満足感を示されている  
 今回の保護者アンケートでは、回答をいただいたのは53名であり、回答者割合は7割強であった。総合的な園の感想として、「大変満足」が23名、「満足」が27名と、合わせて9割強の方が満足されている結果となっている。  
 自由意見欄では、「先生方には本当によくしていただいている。子どもとの関わり方、しつけ方など参考になり助かっている。行事は園での過ごし方がよくわかりとてもいい」、「自然の中でダイナミックに体を動かすわかつたけらしさが好き」、「年齢に合った体づくりはよく考えられていると思う」、「のびのびとたくましく育てて下さる点、家ではできない様々な体験を提供して下さる点に非常に感謝している」、「子どもが楽しめる催し物が多い」、「男性の職員が多めでいい」などのコメントがあった。

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページや保育情報誌、各ウェブサイトなどに園の基本情報を載せて提供している</p> <p>園のホームページを開設し、基本理念や園の概要を開示している。保護者にはパスワードを配布して行事の写真などが閲覧できるようにしている。また、区のホームページや区が発行している保育情報誌、各ウェブサイトなどを通じて、園に関する情報を提供している。園では、しおり、パンフレットなどを用意して、情報をわかりやすい形で提供できるように努めている。また、園に興味・関心を持っていただけるように、行事などの情報は、ポスターやチラシなどを配布し広く提供している。</p> <p>行政や関係機関には求めに応じて必要な情報の提供を行い、日頃から連携している</p> <p>行政や関係機関には基本的な情報を開示するなど、求めに応じて必要な情報の提供を行っている。また、日頃から担当課とは連携をとっている。区の発行している保育情報誌では、区内の公立、私立、認証など保育園の情報を得ることができる。毎年当園の情報を更新している。園の理念・方針、所在地、子どもの受け入れ人数、開所時間、年間行事などの基本的な情報を開示している。保育情報誌は児童館などの公共施設に置いてあり、利用希望者が入手できるようにしている。</p> <p>問い合わせや見学は随時受け付け、見学では方針を理解していただけるように説明する</p> <p>問い合わせや見学については、随時対応している。主に園長が対応している。見学の日程は、見学希望者の都合や希望に合わせてできるだけ柔軟に設定している。見学は、知りたいこと、見たい事を事前に伺って希望に合わせて実施し、パンフレットや写真を用いて分かりやすく丁寧な説明を心がけている。保育方針についても説明を行い、理解を得ている。育児相談等にも応じるなど、個別の状況に応じて柔軟に対応している。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

**サブカテゴリ-2の講評**

**必要な書類は園長が直接届け、入園説明会を実施して基本的なルールなどを説明している**  
 入園決定後に園長が必要な書類を各家庭に直接届け、入園説明会を実施している。また、各クラス担当者と個別に入園面談を実施している。入園説明会では、園のしおりを使用しながら、園長、保育士、看護師、栄養士が各分野ごとに基本的なルールや重要事項などについて説明を行っている。面談は、子どもの支援に必要な家庭環境や生活リズムなどの情報を書類に書き込んでいただき、その情報をもとに実施している。

**入園後は1週間を目安に慣れ保育を実施し、期間は保護者と相談のうえで決定している**  
 入園直後は、慣れ保育を実施している。1週間を基本としているが、保護者の就労や子どもの負担にならないよう配慮し、保護者と相談のうえで実施期間を設定している。事前の面接などで得た個別の事情や要望を把握し、これまで子どもが生活してきた状況を踏まえた支援ができるように配慮している。特記事項については園長に報告して対応を図るほか、職員会議で報告するなどして、職員間で情報を共有して保育にあたっている。

**転・退園後も相談に応じたり、行事にお誘いするなどして継続した支援に努めている**  
 転・退園などによりサービスを終了する場合には、保護者に声かけを行い不安の軽減に努めている。退園に関する手続きや個別の相談にも応じ、丁寧な対応を心がけている。退園後も保育園での行事(夏祭りや運動会など)に参加が可能であり、希望があれば相談にも対応している。卒園児については、小学校6年生まで行事へのお誘いのハガキを出して、参加を呼びかけている。

**サブカテゴリ-3**

<b>3</b>	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	<b>12/12</b>
----------	-----------------	------------------	--------------

<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		<b>評点(00000)</b>
---	--	------------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(00)</b>
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(00)</b>
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

**サブカテゴリー3の講評**

子どもの心身の状況や生活の状況などは、定期的に児童票に記録し把握している

子どもの心身の状況や生活の状況などは、日々の記録を行うとともに、定期的に児童票に記録し把握している。日々の計画に沿った具体的な支援の内容や子どもの成長の様子などは、クラスごとの保育日誌や個人の連絡帳などに記録している。保育日誌は全体の様子と個々の様子を分けて記載できるようにしている。0歳児は日誌を兼ねた個別生活表を使用している。連絡帳は全ての子どもに用意しており、乳児クラスは食事・睡眠・排泄・体温などの体調や家庭および園での様子を毎日記入し、幼児クラスは自由記述式のノートで情報交換を行っている。

年3回の保育のまとめで、計画、見直し、反省を職員全体で行っている

保育課程をもとに、年間指導計画、月案、週案などの計画を作成している。日々の子どもの様子を詳しく把握し、保護者会、個人面談などで出た要望・意向を確認しながら、計画に繋げるようにしている。0～2歳児には、個別の指導計画を作成し、細やかな支援ができるようにしている。年3回の保育のまとめで、計画、見直し、反省を職員全体で行っている。状況の変化に応じて計画を緊急に変更する場合には、園長、主任が中心となってその都度検討し決定している。また、月毎の計画については、園だより、各クラスだよりにて保護者に知らせている。

毎月行う職員会議、乳幼児部会などで、子どもに関する情報を全体で共有している

各保育計画や保育日誌、児童票は各クラス担当者が共有し、クラス会議で、計画、見直し、反省を実施している。また、毎月行う職員会議、乳幼児部会などの会議の場で、子どもに関する情報を全体で共有している。毎日、終礼を実施している。日々のなかで共有すべきことは終礼において報告し、出席した職員が各部署に伝達している。職員間での申し送りは、口頭や記録を取るなどで行っている。

サブカテゴリー5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
個人情報取り扱いについて入園時に説明し、保護者の同意を得ている 個人情報保護方針を定め、園のしおりに掲載している。入園時には個人情報利用について署名・捺印をいただき、保護者の同意を得ている。就学支援シートなど、他機関への情報の提供については、事前に保護者の同意を得るようにしている。個人情報保護規程を定めてステートメントブックに記載し職員に配布している。守秘義務については、職員には職員会議のなかで、実習生やボランティアに対しては事前のオリエンテーションのなかで伝えている。			
子どもの年齢や発達に合わせて、羞恥心に配慮した対応を心がけている 子どもの羞恥心に配慮した支援として、排泄に失敗した時などには、できるだけ他の子どもの目に触れないように配慮している。夏のプールでは、よしずなどで目隠しをし、シャワーや着替えが外部から見えないように配慮している。また、水着を着用したタオルなどで覆うようにしている。日頃より、職員間で子どもへの対応のあり方について、共通の認識を持てるように努めている。必要時には指導を行い、全体で検討が必要な場合には、会議にて取り上げるようにしている。			
虐待の情報を得た場合には、家庭支援センターなど関係機関へ連絡する体制を整えている 入園時に聞き取りを行ったこれまでの生活習慣などに関する情報をもとに、子どもと保護者の価値観や生活習慣に合わせた支援を心がけている。家庭と連携を取りながら、保護者の思いや考えを受け止め、子どもの状況に合わせた支援を行っている。虐待の疑いがある子どもの情報を得た時は、速やかに主任・園長に報告する。状況を確認した後、園長から家庭支援センターなどの関係機関へ連絡する体制を整えている。			

## 評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

### サブカテゴリ6の講評

#### 職員の行動の規範を明文化してまとめたステートメントブックを各職員に配布している

食物アレルギー対応や危機管理など各種マニュアルを整備し、手順を明確にしている。マニュアルは事務所に整備し、職員がいつでも閲覧することができるようにしている。また、職員の行動の規範を明文化してまとめたステートメントブックを各職員に配布し、個々の職員が常に振り返ることができるようにしている。会議や話し合いのなかで、マニュアルと保育の内容を照らし合わせるなどして、職員間で共通の理解が得られるようにしている。

#### 地震・火災についてさまざまな想定を行い、毎月避難訓練を実施している

職員会議などの場で、計画の変更や見直しを行っている。サービスの基本事項や手順書の見直しにあたっては、それぞれの職員から出された意見や提案を反映したものになるようにしている。また、状況に合わせて随時話し合いを持ち、見直しを行うことでより良い支援に繋がっている。毎月実施している避難訓練では、地震・火災についてさまざまな想定を行い、目標を明確にして取り組んでいる。発生した事故は事故記録簿に記録し、職員会議などで話し合い再発防止や予防に努めている。

#### 職員の資質向上に向けた、研修や講習会などへの参加の機会を設けている

職員が一定の知識や技術を学ぶことができるよう、資質向上に向けた研修や講習会などへの参加の機会を設けている。園内研修として、それぞれ年3回程度、リズム・描画などをテーマに行っている。平成28年度には、法人内各園との交換研修を行う予定である。外部研修に関しては、基本的には希望制としているが、職員個々の能力などを踏まえて園からの指示で参加させることもある。外部研修で学んだ成果は、研修報告書に記録するとともに、会議などで内容や感想について発言させ共有化している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの自主性・自発性を促せるように、保育内容や環境設定を工夫している</p> <p>子ども1人ひとりの発達の過程や様子を把握するため、保育日誌や児童票を作成している。保育日誌は全体の様子と個々の様子を分けて記載できるようにしている。また、全園児に連絡帳を用意し、家庭での様子も把握しながら保育を行っている。年齢や発達過程に応じた計画を立て、子どもの自主性や自発性を促せるように保育内容や環境設定の整備・工夫をしている。遊具には工夫次第で色々な遊び方ができる物を多く取り入れたり、散歩ではあえて遊具のない公園に行くなどして、子どもの積極性や想像力を育てている。</p> <p>異年齢の交流や日本の文化・習慣を大切に保育を行っている</p> <p>幼児クラスは週1回合同でリズム運動を行っている。また、月1回縦割り保育の日を設けている。異年齢の子ども同士と一緒に過ごす時間を設けることで、大きい子は小さい子の面倒を見たり、小さい子は大きい子の姿を見て真似たりあこがれたり、お互いに刺激し合うことができるようにしている。園では日本の文化や習慣を大切に考えており、日本の伝統行事や芸能・遊び・食文化を多く取り入れている。日々の遊びや食事を通して日本の文化を多く体験することができるようにし、その上で異文化についても説明をしている。</p> <p>子どもの発達状況などに応じて専門機関とも連携し、必要な支援を行っている</p> <p>要支援児の保育には、できるかぎり保育士を加配して対応するようにしている。個別に計画を作成して個人記録に日々の様子を記録するとともに、職員会議などで意見交換を行いながらその子にとって良い保育となるように努めている。また、区の巡回指導や専門機関とも連携し、子どもの園での様子や保護者からの相談などの情報交換を行い、日々の保育に活かしている。子ども同士のトラブルに際しては、その経緯について両者から話を聞き、保護者にも状況を伝えるようにしている。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

全園児に連絡帳を用意し、家庭と園との情報共有を図っている

保護者との連絡には連絡帳を使用している。乳児クラスは食事・睡眠・排泄・体温などの体調や家庭および園の様子を毎日記入し、幼児クラスは自由記述式のノートで情報交換を行っている。登園時には家庭での様子や気になったことなどを保護者に確認している。家庭からの連絡事項や保護者への伝達事項などは、クラスごとの連絡ノートや毎日の終礼などで職員間で共有するようにしている。お迎え時に保護者1人ひとりとゆっくり話をすることは難しいため、乳児クラスでは連絡帳にできるだけ詳しく様子を書くほか、必要に応じて電話連絡により伝えている。

発達状況に応じて園と家庭で協力しながら基本的な生活習慣が身につくように支援している

動きやすく且つ排泄の感覚を感じやすくするため、園では布おむつを使用している。月齢や発達状況に応じて徐々にトイレトレーニングを進めている。食事は0歳児はまずは手づかみで意欲的に食べることを支持し、興味を持ち始めてからスプーンなどを使用するようにしている。基本的な生活習慣や生活リズムなど大切なことは、保護者会・保育参加・個人面談の機会やクラスだより・保健だより・給食だよりなどを通じて保護者にも知らせ、園と家庭で協力しながら無理なく身につくように支援している。

子どもの年齢や体調に配慮して、午睡の長さや時間帯を調整している

午睡は子どもの年齢や体調に合わせて長さや時間帯を調整している。乳児は個々の生活リズムや月齢に応じて個別に対応している。午睡時は乳幼児突然死症候群(SIDS)予防のためにチェック表を用いて、0・1歳児は5分ごと、2歳児は10分ごと、3～5歳児は30分ごとに呼吸や顔色等の確認をしている。5歳児は就学に向けて生活リズムを整えるため、1月下旬頃から午睡をなくしているが、その日の活動内容や子どもの体調に配慮しながら適宜休息をとるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子どもが自分で遊びを展開できるように環境設定の工夫を行っている

保育課程を基に年間指導計画・月案・週案を作成し、日々の保育に反映させている。子どもの年齢や発達の状況に応じた計画を立て、その時々合った保育内容となるように配慮している。室内では押入れのスペースを遊び場として利用したり、園庭に段ボールや木材、ロープ等を用意して、子どもたちが自分で遊びを展開できるように環境設定の工夫を行っている。また、リズム運動やクッキング保育、年間行事などを通じて集団活動の楽しさを感じ、主体的に関われるように支援している。

健康な子どもを育むため、薄着・裸足保育を推奨し戸外遊びを積極的に取り入れている

保育目標の1つとして「健康な子ども」を掲げている。園では薄着を推奨し、足裏の刺激や皮膚感覚の鍛錬、土踏まずの形成などのために年間を通じて裸足保育を行っている。また、天気の良い日はできるだけ散歩に出かけたり戸外で遊び、自然の中で遊び学ぶことでたくましい心と体を養っている。泥んこ遊び・プール・戸板登り・春と秋の遠足・山登りなど、屋外での活動を積極的に保育に取り入れている。

日々の散歩や野菜の栽培など、自然との触れ合いを大切にしたい保育を行っている

日々の散歩で自然を観察したり、季節ごとの野菜の栽培・収穫などを行い、四季の変化や季節を感じるができるようにしている。天気がよければ園の周囲に複数ある公園に毎日のように散歩に出かけている。公園では木登り・水遊び・落ち葉遊び・ドングリ拾いなどを楽しみ、自然との触れ合いを大切にしたい保育を行っている。また、プランターや畑で育てた野菜は給食やクッキング保育で調理し、旬の食材を味わっている。行事にはソーメン流し・うどん打ち・もちつき・豆まきなど、日本の伝統行事を多く取り入れている。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

伝統文化や季節感を大切にしたりした行事を多く取り入れ、様々な体験ができるようにしている

園行事は日本の伝統を大切に実施している。季節ごとの食文化やならわし・民族芸能に触れる機会を設け、行事を通して「文化に親しむ心」を育んでいる。また、運動会・キャンプ・お泊り保育・お店屋さんごっこ・作品展など、みんなで協力してやり遂げる行事を取り入れている。日頃の保育の中で準備や練習に励み、その成果を発揮することで子どもたちが達成感を感じられるようにしている。山登りに向けては「山の神」からの手紙により、子どもの興味ややる気を引き出すなど、想像力(創造力)を刺激して自主性・自発性を促す工夫を行っている。

行事の予定や目的については、おたよりや保護者会等で保護者に知らせている

年間行事予定表を年度始めに保護者に配布するほか、日程が近づいたものは再度園だよりなどに情報を載せて、事前に日程が把握できるようにしている。保護者が参加・見学可能な行事と子どもだけで実施する行事を明確にしている。保護者参加の行事後は連絡帳やアンケートで感想を聞き、次年度の参考にしている。毎月の誕生会には誕生月の子どもの保護者を招待する。園の方針や行事の目的については入園説明会や保護者会などで知らせ、保護者の理解を得られるように努めている。

園行事への招待やボランティアの受け入れなどにより世代間交流を図っている

夏祭り・運動会・作品展などの行事は、地域住民や卒園生を招待している。また、毎年秋に開催する民族芸能公演会は近隣小学校や児童館・町会にポスターやチラシを配布するほか、園のホームページでもお知らせして広く参加を呼びかけている。年長児は就学に向けて近隣保育園との交流や小学校での授業・給食体験を実施している。各種学校の保育実習・高校生ボランティアなども受け入れ、子どもが様々な人と接する機会を設けている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

子どもたちが快適に過ごせるように、園内の環境整備に努めている

保育室内は年齢に応じて快適に過ごせるように整備している。机や椅子は年齢ごとに高さの異なるものを用意し、絵本や玩具は子どもたちが取り出しやすく且つ片付けやすいように配置している。乳児の保育室内は食事や睡眠のスペースと遊びのスペースを分け、個々の生活リズムに応じて過ごせるように配慮している。毎日掃除をして清潔を保持するとともに、冬場は加湿器や霧吹きを使用するなどして適切な湿度となるように気を付けている。ホールやプレイルームは活動内容や子どもの状況に応じて多目的に使用している。

異年齢の交流を通して、子どもが成長できるように取り組んでいる

異年齢が交わる機会として、幼児クラスでは週1回の合同リズムと月1回縦割り保育の日を設けている。合同リズムでは、5歳児がまず最初に見本として動きを見せ、それを真似て4歳児・3歳児が順番に行うようにしている。また、運動会や作品展などの行事は、全園児が協力して取り組んでいる。作品展の合同作品はその年ごとにテーマを決め、各年齢に応じて作業を分担して作成している。大きい子は小さい子の面倒を見たり、小さい子は大きい子の姿を見て真似たりあこがれたり、お互いに刺激し合うことで子どもの成長を促している。

連絡帳に詳しく様子を記すとともに、大切なことは必ずお迎え時に伝えるようにしている

園での子どもの様子は、連絡帳に記したりお迎え時に直接保護者に伝えている。連絡帳にはできるだけ詳しくその日の子どもの様子を記述するように努めている。保育の様子を写真に撮って添付することもある。ケガなど日頃と異なる様子については毎夕の終礼で職員間で共有し、お迎え時に必ず保護者に伝えるようにしている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

献立や食材の創意工夫を図り、安全でおいしい食事の提供に努めている

給食は1ヶ月ごとの献立を作成している。旬の食材を取り入れ、素材の味を感じてもらえるように薄味を心がけている。また、食材や調味料はできるだけ国産品を使用し、おやつもスナック菓子などの市販品や嗜好品を用いず手作りのものを提供するなど、安全性にも配慮している。子どもの楽しみとなるように季節ごとに行事食を取り入れている。室内だけでなくベランダや庭で給食を食べたりお弁当を持って公園に行くなど、普段と違った形で食事をする機会もある。

食物アレルギーについては個別の献立を作成し、誤食のないように気を付けている

食物アレルギーに関しては、医師の指示に基づき栄養士・看護師・担任保育士・園長が保護者と相談し、除去食および代替食を提供している。毎月個別の献立を作成し、保護者に確認をしている。配膳時は顔写真とアレルギー食材の表示された専用のトレーを使用し、献立と照らし合わせて再度確認を行う。配膳する順番や座席も固定し、年齢や状況に応じてパーテーションやテーブル付きの椅子を利用するなど、誤食のないように気を付けている。子どもの体調に合わせた食事の提供や文化の違いによる宗教食にも随時対応している。

野菜の栽培や調理保育を通して、食に興味・関心が持てるように取り組んでいる

食育の取り組みとして、幼児を中心に野菜の栽培やクッキング保育を行っている。園の畑やプランターでは、トマト・キュウリ・とうもろこし・じゃがいも・にんじん・大根など季節ごとに様々な野菜を栽培している。獲れた野菜は給食やクッキング保育などで調理して食べている。クッキング保育では年齢に応じて食材の皮むきや包丁を使用した調理を行っている。3・4歳児は味噌作りも行う。また、そうめん流し・芋ほり・もちつきなど食に関連する行事を季節ごとに取り入れ、子どもが食に興味・関心を持てるように取り組んでいる。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

日頃の保育で丈夫な体作りに取り組み、ケガや病気の予防を図っている

子どもの健康状態を把握するため、毎月の身体測定のほか年3回の健康診断(0歳児は毎月2回)や年2回の歯科検診(幼児)を実施している。身の回りの危険については、日頃から子どもたちに伝えている。園では、薄着・裸足保育とよく歩くことを奨励して丈夫な体作りに取り組むとともに、手洗いうがいを習慣づけて感染症等の予防を図っている。園庭で遊んだり散歩に行く際にはルールや気を付けることについてその都度話をして、安全に遊べるようにしている。また、毎月の避難訓練のほか4・5歳児は年1回防災館に行って地震などの体験をしている。

必要に応じて投薬などの対応を行うとともに、万が一に備えて救命講習を受講している

入園時に子どもの持病や体質などを確認している。基本的に園での投薬は行わないことにしているが、アレルギーなどの慢性疾患等により日常的に投薬を要する場合には、医師の指示のもとで保護者と連携して行っている。塗り薬や酔い止め薬についても、園指定の依頼書の提出により対応している。万が一に備えて家族の連絡先や搬送先を確認するとともに、全職員が上級救命講習を受講している。園にはAED(自動体外式除細動器)の設置があり、年1回使用方法の講習も実施している。

毎月の保健だよりを通じて、感染症や健康管理に関する情報を保護者に伝えている

園内で感染症が発生した場合には、掲示物や配布物により全保護者に周知している。感染症が広がらないように子どもの健康状態に留意するとともに、嘔吐時に備えて各クラスに処理グッズの設置と手順の掲示をしている。毎月発行している保健だよりでは、季節ごとに流行しやすい感染症の症状や予防のポイント、日頃から大切にしたい生活習慣などについて情報を提供している。乳幼児突然死症候群(SIDS)防止のため、園では午睡時に全園児の呼吸や顔色等のチェックを行っている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

平成27年度より、18時15分～19時15分までの延長保育を始めた

今年度より延長保育(定員20名)を始めた。月～金曜日の18時15分～19時15分までの1時間として実施し、月極め以外のスポットでの利用もできるようにしている。急な残業による保育時間の延長については、開所時間の範囲内で柔軟に対応している。毎日の登降園や連絡帳でのやり取り、個人面談などで保護者と積極的にコミュニケーションを図っている。行事の日程に関しては、年度始めに年間計画を配布している。できるだけ保護者が参加しやすい日程を組むように心がけている。

行事に保護者が参加・協力していただくことで、保護者同士が交流できるようにしている

保護者が参加できる行事として、親子遠足、夏祭り、運動会などがある。行事に保護者が参加・協力することで、保護者同士が交流している。保育参観や保育参加を実施して、園での子どもの様子を見ていただき、保育内容に理解を得ている。保育参観は随時受け付けている。個人面談を実施して、保護者の要望や意向を把握している。また、行事後にアンケートを実施したり、園内に投書箱を設置するなどして意見を汲み取り、計画に反映するようにしている。

お迎えの時間帯に合わせて年1回、保護者との「給食交流会」を実施している

園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりなどを発行し、子どもの様子を知らせたり、健康・食事に関する注意事項などを知らせている。行事の様子は撮影した写真を掲示したり、連絡帳にコピーして添付するなどしている。お迎えの時間帯に合わせて年1回、保護者との「給食交流会」を実施している。調理保育などの様子のスライド上映や味噌作りの説明、給食で使用している調味料の試食、災害食体験など、内容を工夫して取り組んでおり、保護者に好評を得ている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

園行事への参加を呼びかけたり、赤ちゃんの駅事業や給食体験などを受け入れている

地域の子育て支援として、園行事に地域の方をお誘いしたり、赤ちゃんの駅事業に参加してオムツ替えや授乳などの受け入れを行っている。区の実施している給食体験(離乳食)も受け入れている。また、希望があれば育児相談にも応じている。園行事は、夏祭り、運動会、作品展などを地域に開放しており、ポスターの掲示やチラシを配布するほか、園のホームページでもお知らせして広く参加を呼びかけている。

地域との交流はまだまだ少ないと感じており、今後の課題としている

年長児は就学に向けて近隣保育園との交流や小学校での授業・給食体験を実施している。各種学校の保育実習・高校生ボランティアなども受け入れ、子どもが様々な人と接する機会を設けている。子育て支援の取り組みについては、行事が主体となっているため、年間行事の見直しの際に評価・反省を行い、次年度の計画に反映させている。地域との交流はまだまだ少ないと感じており、今後どのように活動を広げていくか検討している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	リズム運動・描画・手先を使った製作などを保育に取り入れ、子どもの発達を促している	
内容①	子どもの発達を促すため、年間を通してリズム運動・描画・手先を使った作品作りなどを行っている。4歳児から縫い物や編み物の練習をはじめ、5歳児はマフラー編みやリュック作りに取り組む。出来上がった作品は作品展で展示している。また、こま回し・竹馬などの伝承遊びを保育に取り入れたり民俗芸能を鑑賞する機会を設けて、日本の文化に親しむ心を育てている。和太鼓や民舞、陶芸体験なども年間計画の中に組み込んで実施している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている
タイトル②	行事を通して様々な経験を積むことで、「文化に親しむ心」を育てている	
内容②	季節の移り変わりや食文化、伝統行事等に触れる機会を設け、行事を通して「文化に親しむ心」を育てている。運動会・キャンプ・お泊り保育・お店屋さんごっこ・作品展等、子どもが主体となって取り組む。日頃の保育の中で準備や練習に励み、その成果を発揮することで達成感を感じている。山登りに向けては「山の神」からの手紙により、興味ややる気を引き出す等、想像力(創造力)を刺激し自主性・自発性を養う。運動会や作品展等の行事は、全園児が協力して取り組む。作品展の合同作品は年ごとにテーマを決め、各年齢で作業を分担し作成する。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	園の給食や食育を保護者に知っていただく機会として、給食交流会を開催している	
内容③	園の食育に関する取り組みを保護者に伝える機会として、栄養士が中心となり保護者との給食交流会を実施している。調理保育などの様子のスライド上映や味噌作りの説明、給食で使用している調味料の試食、災害食体験など、内容を工夫して取り組んでおり、保護者からも好評を得ている。また、毎月の給食だよりでは正しい食事マナーや嘔吐・下痢の際に適切な食事など、食に関する情報を提供している。乳児クラスでは離乳食だよりも不定期で発行している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	自然との触れ合いや日本の伝統を大切にしたい保育を実践している
	内容	日々の散歩や野菜の栽培・収穫により四季の変化や季節を感じられるようにしたり、日本の食文化やならわし・民族芸能に触れる機会を設け、「文化に親しむ心」を育てている。また、保育目標の1つとして「健康な子ども」を掲げ、年間を通して薄着・裸足保育を行うほか、泥んこ遊び・プール・戸板登り・春と秋の遠足・山登りなど、屋外での活動を積極的に保育に取り入れている。散歩ではあえて遊具のない公園に行くなど、子どもが自分で考えて行動し、創ることに喜びを感じられるように保育内容や環境設定の工夫を行っている。
2	タイトル	安全でおいしい給食を提供するとともに、子どもが食に興味・関心を持てるように工夫を図っている
	内容	給食は薄味を心がけ、安全性に配慮して食材や調味料はできるだけ国産品を使用している。子どもの楽しみとなるように季節ごとの行事食を取り入れたり、ベランダや庭で給食を食べたりお弁当を持って公園に行くなど、普段と違った形で食事をする機会もある。食育の取り組みとして、幼児を中心に野菜の栽培やクッキング保育を行っている。獲れた野菜を給食やクッキング保育などで調理して食べることで、食に興味・関心を持てるように取り組んでいる。また、園の食育に関する取り組みを保護者に伝える機会として、保護者との給食交流会も実施している。
3	タイトル	保護者のニーズに応じて、1時間の延長保育を開始した
	内容	保護者からの要望が多様化するなか、職員会議などで話し合いを行い、可能な範囲で希望に添えるよう努めている。対応が難しいことは、園の考えを伝えて理解いただいている。これまで保護者から要望のあった延長保育(定員20名)を今年度から始めた。満1歳を超えた園児を対象とし、月～金曜日の18時15分～19時15分までの1時間として実施し、月極め以外のスポットでの利用もできるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人、職員が協力して、園舎の建て替えを進めていく予定である
	内容	当園は昭和53年に開園し、40年近くが経過した。2年後に現在の場所に園舎を建て替える計画が進んでいる。今年度は他園の園舎を見学に行ったり、職員内でアンケートを取って新園舎へのアイデアを出し合っている。仮園舎の建設場所も目途が立った。法人、職員が協力して、仮園舎、新園舎への移行を進めていく予定である。
2	タイトル	園の方針や留意点を再確認して、職員間の対応の差をなくしていく
	内容	今回の職員自己評価では、職員の身だしなみやマナー、職員間の意思疎通、さらなる資質の向上、保護者支援についての共通認識などについて、改善したいとの声が聞かれた。園の方針や留意点を職員間で再確認していく必要があると思われる。また、マニュアル化、自己評価や相互評価、園内研修などを通じて接遇のさらなる向上に取り組んでいくことが期待される。
3	タイトル	職員に長く勤めてもらえるよう就業状況のさらなる改善に努めていく
	内容	今回の職員自己評価では、業務負担の軽減を要改善点として挙げる声が複数聞かれた。園としては、会議の持ち方を工夫したり、パソコンの活用を図っている。職員の採用難もあり、長く勤めてもらえるよう就業状況のさらなる改善に努めていく意向である。